

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・選択
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 都市環境デザイン工学専攻
科学技術英語 (Science-Technical English)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)
	教員室	図書棟2階 (Tel. 42-9067)
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位数	講義・演習 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 英語の文章の特徴や論理的な文章・考え方について理解することができる。 英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、物事を論理的に考え英語で発表することができる。		
〔本科目の位置付け〕 英語で論理的にコミュニケーションを行うための基礎的な内容を学ぶレベル。本科目を履修し、2年次前期の「論理的英語コミュニケーション」につなげる。		
〔学習上の留意点〕 入学時に、英文法全般について理解し、その知識を用いて英文を読んだり書いたりできる程度の語学力を有していること。 与えられた題材に対し、自分の考えをまとめて書いたり発表したりする活動を行う。そのため十分なやる気と、人前で自分の意見を英語で発表することを厭わない姿勢が必要とされる。 与えられた課題を真剣に行い、読解力の強化と内容理解に努めること。 社会問題や科学的な事柄について真剣に考えることが嫌いな学生の受講は勧めない。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 談話の概念	1	授業項目1～9の内容について理解することができる。  また、数回の演習の中で授業項目1～9で学んだ内容を授業活動の中で実践し、英語コミュニケーション能力の一部として身につけることができる。
2. 結束性と一貫性	1	
3. 論理構成	1	
4. 理論の実践	1	
5. 英語の論理構成を形成する要素	7	
6. 英語の論理パターン	7	
7. 論理的思考	7	
8. 論理展開と自己表現	2	
9. プレゼンテーションの技法	1	
10. 発表と質疑応答(定期試験)	2	
〔教科書〕 Power Reading 2 - reading in paragraphs - (成美堂) 〔参考書・補助教材〕担当教員が適宜準備する。		
〔成績評価の基準〕定期試験(70%) + レポート等(30%) - 授業態度(上限20%)		
〔専攻科課程の学習教育目標との関連〕2-3, 4-3 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕2-3, 4-3 〔JABEEとの関連〕(f)		